

5. 一宮町地域公共交通総合連携計画の基本方針と計画目標

5-1. 計画対象区域

一宮町内全域を計画対象区域とする。

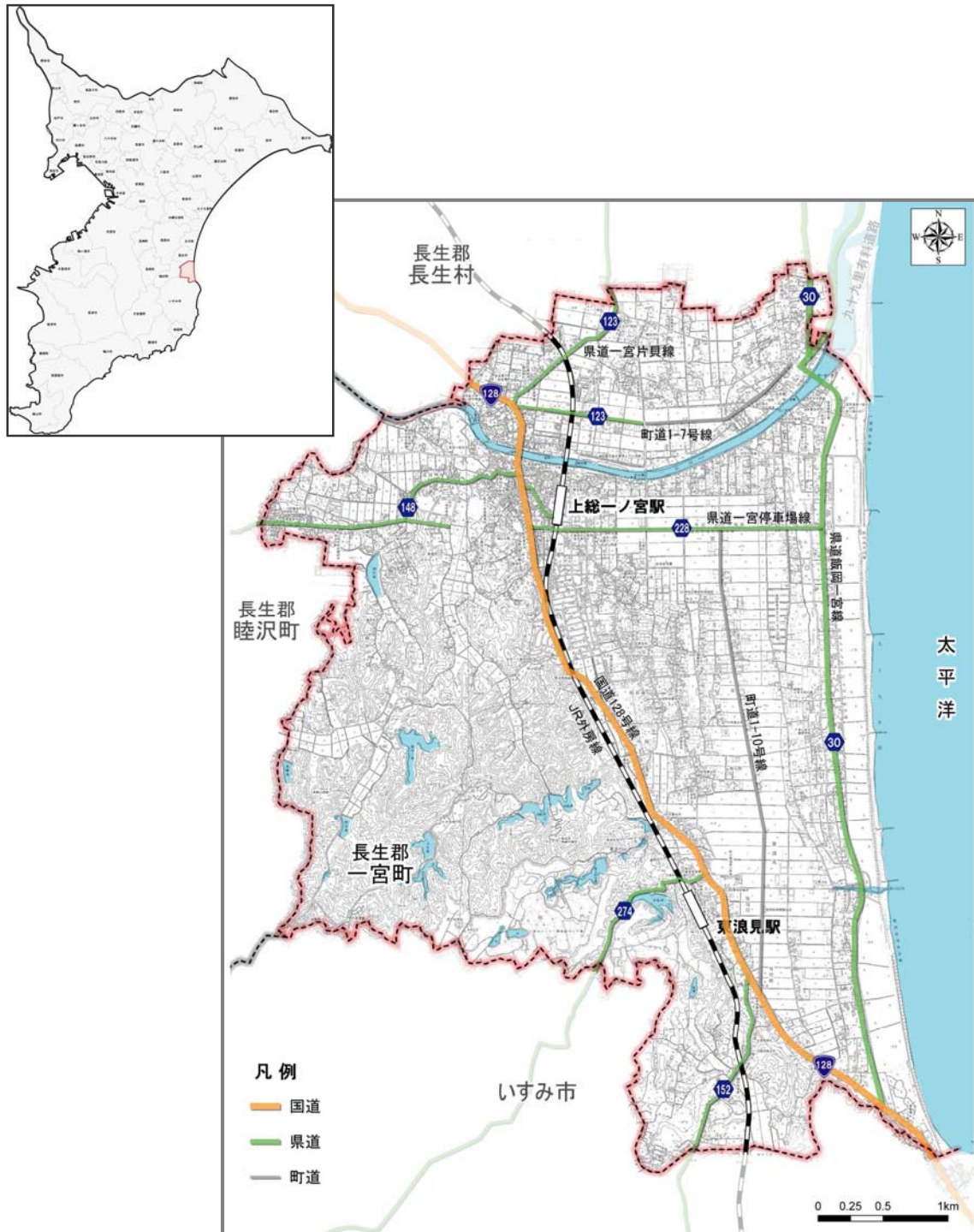


図 計画対象区域

5-2. 計画の基本方針と目標

上位計画と、これまでにまとめた現状と課題を踏まえた上で、本町の公共交通における将来像を以下のとおりとする。

将 来 像

持続可能なまちを育み支える公共交通の実現

将来像の実現に向けて、本計画では以下のような基本方針と目標を掲げる。

基本方針

1. 高齢者等の通院交通手段の確保
2. 日常の買物交通手段の確保
3. 通学交通手段の確保
4. 観光ネットワークの形成

基本方針に係わる目標

目標1. 高齢者等が安心して外出できる交通手段の提供

本町では公共交通が十分でないため、日常的な通院や買物の交通手段における自家用車利用の割合が高く、町内外の移動は自家用車に依存していることから、今後さらに進展する高齢化を踏まえて、日常生活が十分に送れる環境を整えるために、高齢者等が通院や買物などで安心して利用できる交通手段を提供することを目指す。

目標2. 小中学生が安心して通学できる交通手段の確保と拡充

小中学生の居住地が町内に広範囲かつ低密度に分散していることから、長距離通学を強いられる生徒や、家族等に送迎してもらうなど家族にも負担がかかっている世帯があるため、子持ち世帯が住みやすい環境にするために、生徒やその家族の負担を少しでも軽減する交通手段の確保と拡充を目指す。

目標3. 地域連携による持続可能な交通体系の構築

一過性のものでなく持続可能な交通手段を提供していくために、住民・地元企業・行政が連携し、公共交通を支えていくためのスキームを構築していくことを目指す。

目標4. 住民だけでなく観光客のニーズに合わせた交通手段の提供

多くの観光客が自家用車を利用し目的地へ直接向かうことため、中心市街地と観光地との連携が希薄である。中心市街地の活性化や来街手段の多様化などの目的のためにも、中心市街と観光地を結ぶ交通手段が必要である。

5-3. 将来の理想的な公共交通体系

本計画の基本方針と目標を踏まえ、本町に望ましい交通手段を移動目的別に整理し、本町における将来の理想的な公共交通体系を、次頁に示す。

(1) 通勤・通学利用（上総一ノ宮駅利用）

- ・朝時間帯は東京・千葉方面への上り列車に接続し、目的地が上総一ノ宮駅に一本化されるため、ある程度まとまった需要に対応し、速達性と定時性を確保した交通手段が望ましい。
- ・上総一ノ宮駅の利用者は町内のみならず、町外からの通勤利用も多いことから、本町に隣接する市町村と駅を結ぶ交通手段も必要となる。

(2) 通学利用（小学生）

- ・学生の下校時刻は学年によりばらつきがあることから、ある程度下校時間の集約が可能である小学生低学年を対象に、登校に不便な地域における集約的な運行が望ましい。

(3) 買物・通院利用

- ・買物については町内商業の利用促進や活性化の視点から、通院については駅周辺に医院やクリニックが集積しているため、特に利用の対象が高齢者中心になることを考慮すると、町内全域でのドア to ドアに近い交通手段が望ましい。

(4) 観光利用

- ・上総一ノ宮駅から観光施設や宿泊施設等が多く集積する一宮海岸、釣ヶ崎方面に路線が設定され、東京発の特急列車に接続する交通手段が望ましい。

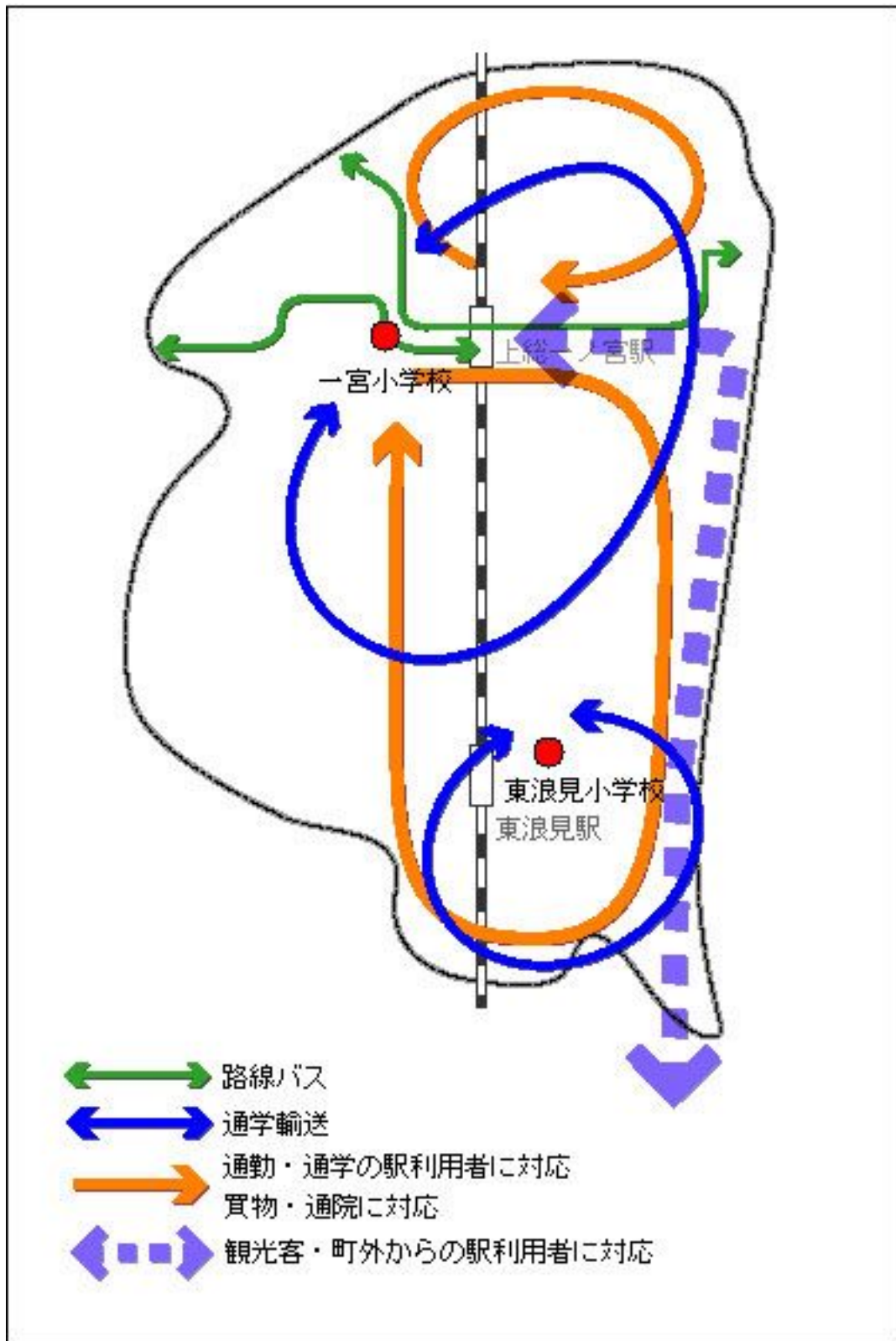


図 将来の理想的な公共交通体系